「高校演劇サミット2017」出場校募集要項

　2017年12月におこなう「高校演劇サミット2017」の出場校を募集します。高校演劇サミットというのは、東京のこまばアゴラ劇場を会場として、3校の高校に出場していただき、毎日3校が1ステージずつ計3作品を上演、それを3日続けておこなう、という小さな高校演劇フェスティバルです。2010年に第1回をおこない、今回が8回目です。おかげさまで前回の「高校演劇サミット2016」は多くの方にご観劇いただきました。雑誌や新聞にも取り上げていただきました。今回も多くの観客が劇場に足を運んでくださるような、そんなサミットをプロデュースしたいです。

　高校演劇サミットの願いは、一般の演劇ファンに高校演劇を観ていただくことです。そしてこれをきっかけとして一般の演劇ファンが高校演劇の会場に足を運んでくださるようになることです。私自身は高校演劇が大好きで、毎年200作品以上を観ています。しかし、以前の私は高校演劇のことはまったく知りませんでした。私は大学に入ってから演劇を始めたので、自分では高校演劇の経験がありませんし、観たこともありませんでした。劇団の仲間と話していても高校演劇の話題が出ることはなかったですし、身の回りに高校演劇の存在を感じたことさえありませんでした。劇場の折り込みチラシのなかに高校演劇のものはなかったですし、演劇雑誌に高校演劇の公演情報が載ることもなかったですから。私は2003年にひょんなことから東京の都立小川高校の演劇部のコーチを務めることになり、それをきっかけに高校演劇の大ファンになりました。でもそれまでは東京で10年以上も演劇活動をしていたのに、高校演劇に触れる機会がなかったのです。

当時と違っていまはインターネットやSNSで情報を見つけることができます。映画『幕が上がる』を観て、高校演劇の存在を知ったり、観てみたいなと思ったりした人も多いと思います。そういう人たちにとっての「高校演劇の入り口」になりたいと思います。「高校演劇がここにありますよ」と大きな声で宣伝したいです。観てくれた方に「どうです、高校演劇もおもしろいでしょ？」とちょっと自慢げに言ってみたいです。初めて高校演劇を観る観客が「おお、高校演劇っておもしろいな、もっといろいろ観てみよう」と思うような、そんなサミットにしたいですし、そんな作品を募集します。素敵な作品との出会いを楽しみにしています。ご応募をお待ちしています。

高校演劇サミットプロデューサー：林成彦

主催　：（有）アゴラ企画・こまばアゴラ劇場

【高校演劇サミット概要】

会場：こまばアゴラ劇場（客席数約60席）

　　　　　東京都目黒区駒場1－11－13

　　　　　京王井の頭線「駒場東大前駅」東口下車　徒歩3分

期間：2017年12月28日（木）～12月30日（土）

3日間とも各校1ステージずつの上演を予定しています。

12月26,27,28日にゲネプロをおこないます。

入場料金：日付指定フリー券：3000円（予定）

　　　　　日付および作品指定券：1500円（予定）

　　　　　出場校関係者はゲネプロに無料招待します。

　　　　　出場校のチケットノルマ（チケットを売る義務）は一切ありません。

【出場校のメリット】

演出家の田中圭介が学校をお訪ねして、演出上のアドバイスをします。

同一の劇場で複数回（ゲネプロを含め4回の予定）の上演ができます。

【応募に当たって】

・出場校は3校を予定しています。

各校に複数回の上演機会を提供します。

・上演作品は地区大会等ですでにいちど上演された作品にかぎります。

　　　応募には上演時の映像資料が必須になります。

・12月26日（火）～28日（木）に場当たり及びゲネプロを行います。

　　　※場当たり・・・照明や音響などスタッフワークのきっかけの確認、転換の確認など

※ゲネプロ・・・劇場で本番同様におこなう通し稽古

・費用について

出場校の「参加費」および「劇場使用料」は無料です。

運送費・交通費等の諸経費、著作権料等は各校の自己負担でお願いします。

有料公演ですので、楽曲使用料（JASRACに支払い）も発生します。

前回は1曲につき550円（×3公演）と計算されました。

JASRACへの手続きはこちらでまとめて行いますので、使用料のご負担をお願いします。

・顧問の先生の意欲的なご協力が不可欠になります。

部員生徒との直接的なやりとりは原則として行いません。

場当たり、ゲネプロ、本番にご参加いただけることが必要です。

顧問の先生との事前打ち合わせを行います。

・上演日程、上演順、終演時刻等は相談に応じます。他校との調整になります。

・事前に演出家の田中圭介が演出上のアドバイス（演出指導）をします。

出場各校の部活動の場（学校）に実際に田中がお邪魔します。

11～12月に各校3回ほどの予定です。

　　　実際の訪問日は他校との調整により決定します。

　　　出場決定後に各校の部活動のご都合をお尋ねします。

・舞台美術には大きさの制限を設けます。

　　　基本的に部員が自分の手で持って運べる大きさのものに限ります。

　　　劇場には大道具を置いておく場所はありません。

・照明、音響のオペは部員の方に担当していただきます。

・客席エリアがせまいため、公演本番のビデオ・写真撮影はできません。

事前に制作スタッフへ相談の上、ゲネプロで撮影してください。

以上のことをご理解いただいた上で、出場校を募集します。

次に挙げる資料3種をお送りください（3つとも必要です）。

1:エントリーシート（webサイトの応募フォームからお送りください）

　　2:上演作品の台本（wordファイルをメールに添付してお送りください）

3:上演作品の映像資料（ユーチューブに限定公開し、URLをお知らせください）

応募が多数の場合は資料を吟味し、田中と林が話し合いの上、出場校を選ばせていただきます。

台本のファイル送信やユーチューブの限定公開が難しい場合はご相談に応じます。

下記のアドレスまでメールでご連絡ください。

（ただし原則として「台本なし」「映像資料なし」の作品は選考の対象になりません）

【応募先・問い合わせ先】

koko.engeki@mbr.nifty.com 　担当：林成彦宛て

【応募期間】

9月11日（月）～10月13日（金）です。

【出場校の発表】

11月1日（水）の予定です。

【スタッフのプロフィール】

〇 林成彦（プロデューサー）

俳優、演出家。青年団演出部所属。NPO法人パブリック理事。1969年生まれ。名古屋市出身。

〇 田中圭介（ディレクター）

演出家。武蔵野音楽大学大学院を修了。演劇、オペラ、ミュージカルなど様々なジャンルの演出を手がける。近年はワークショップリーダーとしても様々な地域で活動している。2011年演劇フェスティバル「ガチゲキ!！」に劇作家、黒川陽子とのユニット「クロカワタナカ＆Co.」として参加（演出）特別審査員賞受賞。2012-2013年「身体の景色」として密陽演劇祭（韓国）に招聘される。

【スタッフ】

ディレクター：田中圭介

照明：黒太剛亮

音響：秋田雄治

舞台監督：黒太剛亮、中塚ゆい

制作：北村耕治

アドバイザー：平田知之（筑波大学附属駒場中学・高校教諭）

プロデューサー：林成彦

総合プロデューサー：平田オリザ

主催：（有）アゴラ企画・こまばアゴラ劇場

協力：青年団　ほか